



九大フィルハーモニー・

オーケストラ

第211回

定期演奏会



2023

12/18 Mon



19:00 START (18:00 OPEN)



アクロス福岡シンフォニーホール

指揮 齋藤 友香理

マルケス ダンソン 第2番

ボロディン 交響曲第2番 口短調

ドヴォルザーク 交響曲第8番 ト長調 作品88

TICKET

全席自由 1000 円

未就学児の膝上鑑賞は無料です
会場には車椅子席のご用意がございます

- ・ チケットぴあ (Pコード 251-662) <https://t.pia.jp/>
- ・ アクロスWEB チケット <https://www.acrosticket.jp>
- ・ アクロス福岡チケットセンター 092-725-9112

演奏はオンラインでも配信いたします



CONTACT

- ・ 広報 (松海) 080-9419-2447
- ・ 渉外 (藤田) 090-8624-3839
- ・ メール qdaiphil@gmail.com

主催 九大フィルハーモニー・オーケストラ

後援 福岡市 福岡市教育委員会 読売新聞社 RKB 毎日放送 (公財) 福岡市文化芸術振興財団 九州朝日放送 九大フィルハーモニー会





九大フィルハーモニー・オーケストラ Kyudai Philharmonic Orchestra

九大フィルハーモニー・オーケストラは、九州大学と福岡市近郊の大学の学生で構成される、日本でも有数の永い歴史と伝統を持つアマチュアオーケストラである。現在、100名程の現役部員が所属し、年2回開催される定期演奏会を目標に、精力的に活動している。1909年に九州大学の前身である福岡医科大学の榎保三郎氏によって創立され、以降、石丸寛氏や荒谷俊治氏、堤俊作氏を指揮に迎え、発展を遂げてきた。1924年には皇太子時代の昭和天皇ご成婚を祝す「摂政宮殿下御成婚奉祝音楽会」にてベートーヴェン/交響曲第9番「合唱」第4楽章を演奏。一説に日本初演と言われている。さらにはメンデルスゾーン/交響曲第4番「イタリア」やハイドン(1. モーツァルト)/交響曲「玩具」などの日本初演を果たすなど、明治から大正時代にかけての日本のオーケストラを牽引してきた。2009年には九州大学に先立って創立100周年を迎えるとともに、永年にわたる音楽文化の向上や地域文化の振興に大きな役割を果たしていることにより、福岡市民文化功労賞を受賞。2014年には鈴木優人氏を九大フィル初代ミュージックアドバイザーに迎え、さらなる活動の充実を図っている。定期演奏会の他にも、官公庁や企業、学会からの依頼による出張演奏なども行っており、福岡県内の様々な場所において幅広い音楽活動を行っている。

指揮者プロフィール



齋藤 友香理

Yukari Saito

東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ピアノ科卒業後、同大学の科目履修生『指揮』に在籍、黒岩英臣、高関健、梅田俊明各氏に師事。2009年からはロームミュージックファンデーションの指揮セミナーで小澤征爾、湯浅勇治、三ツ石潤司各氏の指導を受ける。その後小澤征爾氏により指揮研修生に選ばれ、特別レッスンを受講。2010年9月にサイトウ・キネン・フェスティバル松本(現セイジ・オザワ松本フェスティバル)で青少年のためのオペラ《ヘンゼルとグレーテル》を指揮し、オペラデビューを果たした。2013年9月からはドイツのドレスデンに拠点を移し、ドレスデン音楽大学大学院指揮科に在籍、G.C. ザンドマン教授に師事し、修了。その間、ドレスデン音楽祭総監督であるヤン・フォーグラの推薦によりモーリッツブルグ音楽祭に招かれ、ハインリヒ・シフのアシスタント指揮者を務める。2015年、第54回ブザンソン国際指揮者コンクールで聴衆賞とオーケストラ賞を同時受賞。2016年にはリール国立管弦楽団を指揮し欧州デビューを果たす。また2017年には、ウィーンのトーンキュンストラ管弦楽団との公演において、ダニエル・オッテンザマーと共演。2018年5～7月にはバイエルン州立歌劇場で上演されたワーグナー《パルジファル》で、音楽監督キリル・ペトレンコのアシスタントを務めた。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、九州交響楽団を指揮。